

第Ⅲ期スタート!

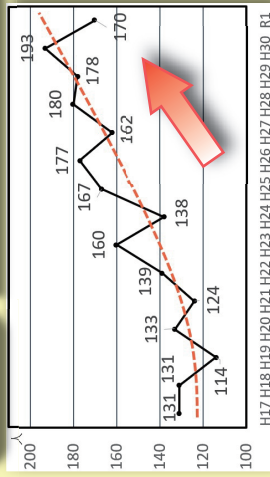
文部科学省指定 令和2～6年度



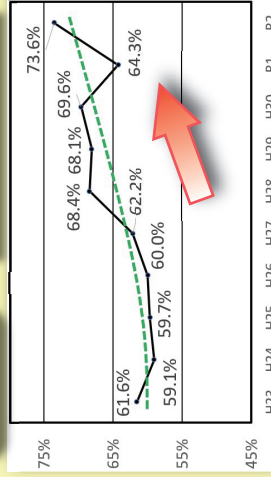
Ⅰ期・Ⅱ期の成果をⅢ期の飛躍へ

SSH指定後に学校はどう変わったか?

学力の向上 国立大学合格者大幅増!



理系の増加 学校全体の7割に!



全国・世界を相手に科学で勝負するたくましい生徒の育成

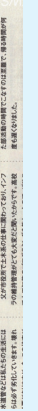
世界大会に挑戦

課題研究の成果を引っ提げて学会に論文投稿したり、日本学生科学賞や科学技術チャレンジ、科学系オリンピック等に参加したりして、日本代表として世界をめざします。校外への積極的な挑戦を通じて、高い意欲と幅広い教養を備えた世界を牽引する科学者を育成します。

SSH×課題研究×科学部



2つのAIを用いた打音による棋盤システムの開発



JSEC2019 全国第9位 朝日新聞全国紙

授業で学んだ人工知能の技術を課題研究や科学部の活動で磨きをかけコンクールの劣化を自動判定するハンマーを開発しました。

科学技術の底上げと課題研究の拡大・発信・還元

PBLとマレーシア・シンガポール研修

現代に必要とされる自ら課題を考え他者と協働しながら解決を図る課題研究に1年生全員が取り組めます。大学や企業との連携を活用し、より質の高い研究を実現します。ポスターセッションで評価の高いチームは、シンガポール・マレーシアで開催される国際学会に参加し発表します。また、成果を冊子にして地域や周辺学校と共有します。

PBL(Project Based Learning)



マレーシア・PBLプレゼンテーション



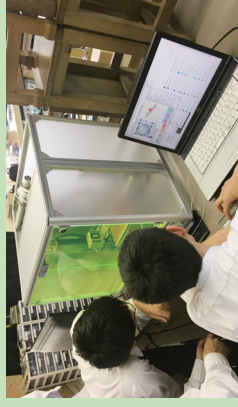
Super Science High School

山口県立徳山高等学校

先進的な授業と取組を通じて質の高い課題研究を実現する

SSH科目

課題研究 I・II(1・2年次)



1年次の早い段階から課題研究に取りかかります。大学や企業との連携を活用し、さらに質の高い研究をめざしましょう。作成した論文を投稿し、各種コンクールや学会等で発表しよう!

先輩からひとこと!

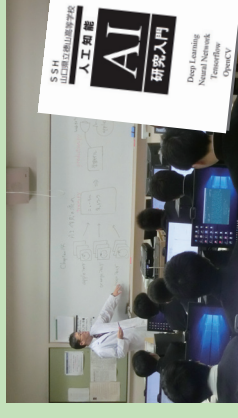


企業と連携した研究が高く評価され、広島大学主催の科学プログラムでオーストラリアへの派遣が決まりました。

「消しカスの復活劇」研究チーム(課題研究II)

SSH科目

AI研究入門(1年次)



次の社会の常識となる人工知能やデータサイエンスをPython言語を使ったプログラミングで実践的に学びます。最終的には収集したデータを機械学習させてオリジナルのAIを開発しよう!

科学部

校内科研費制度(科学部)



本気で科学したい人に研究費を助成します。校長先生の前でプレゼンを行い、研究費を勝ち取ろう!研究費は必要な物品購入の他、資料収集や成果発表のための旅費に使えます。

先輩からひとこと!



校内科研費で脳波計を購入し集中力を可視化するシステムをつくりました。論文を書いて学会発表に挑戦します。

「AI×脳波で集中力可視化」研究チーム(科学部)

その他

SSH科目

- ・ライフサイエンス(1・2年次)
- ・科学英語(3年次)

イベント

- ・科学巡検(1年次)
- ・大学医学部体験学習(2年次)
- ・課題研究発表会(1・2年次)
- ・SSH生徒研究発表会(全年次)

全校

体制でSSH事業を実践し科学技術人材の底上げと拡大を図る

2年次

シンガポール・マレーシア海外研修



シンガポールで開催される学会で研究発表します。事前に研究をブラッシュアップし、プレゼン特訓して臨みましょう。英語を使って、海外の研究者や高校生と科学を語り、交流しよう!

先輩からひとこと!



大学や交流校でPBLの成果を発表しました。言語や文化を越えて科学で交流する体験は他では得られません!

R1年度マレーシア海外研修参加

1年次

PBL(Project Based Learning)



1年次生徒全員でクラスを超えてチームをつくり、課題研究に取り組みます。他と協力しながら進めてみよう!校内発表で優秀な成績を収めたチームは海外研修に参加する資格を得ます。

第Ⅱ期 H27～R1

地域に学び企業連携を推進して成果を社会に還元する



環境学習・屋久島研修

原宿林における水質調査



課題研究と企業連携



水素ステーションと自動車

- ◎環境学習・屋久島研修
- ◎大学・企業連携
- ◎地域・県内高校連携
- ◎科学部活動の充実

第Ⅰ期 H22～26

課題研究を立ち上げ大学連携を推進して成果を発信する



島田川水質調査

科学技術リテラシー



ポスターセッション

- ◎科学技術リテラシー
- ◎マレーシア海外研修
- ◎島田川水質調査
- ◎大学体験学習

35年の島田川水質調査

地元の水資源を調べる伝統行事です。分光光度計やビュレット等を用いて大学レベルの精密な化学実験を行い、朝から晩まで20カ所近くの測定点の水質調査します。35年続く化学実験の修行です。